

受験番号 _____

平成 29 (2017) 年度 一橋大学大学院 言語社会研究科 博士前期課程 (修士課程)
入学試験問題

第二部門

(日本語教育学位取得プログラム)

論文問題

- ・試験開始の合図があるまでこの冊子を開いてはいけない。以下の注意事項をよく読むこと。
- ・すべて日本語で解答しなさい。
 - ・**一般・日本語教育経験者**は、A 問題、B 問題、C 問題の 3 つの問題から、2 つの問題を選んで解答しなさい。なお、A 問題、B 問題、C 問題につき、それぞれ別の用紙を用いて解答すること。
 - ・**外国人留学生**は、A 問題、B 問題、C 問題の 3 つの問題から 1 つの問題を選んで解答しなさい。
- ・解答用紙には、以下のように選択した問題番号を解答の最初に記入すること。
例：A 問題－問題 1 B 問題－①、③⑥⑨ C 問題－問題 2
※上記は例示であり、一般・日本語教育経験者にあっても、選択するのは 2 題である。
- ・解答に際して用紙 1 枚では不足の場合、試験監督員に申し出て追加配布を受けること。
- ・本冊子は持ち帰ってはいけない。上部の受験番号欄に必ず受験番号を記入しなさい。

第二部門（日本語教育学位取得プログラム）

論文 A 問題

以下の二つの問いのいずれかを選んで、解答しなさい。
解答にあたっては、選択した問題番号を明記すること。

問題 1

2つの形式による文法的類義表現（例. 格助詞の「に」と「で」）を取り上げ、以下の形で論述しなさい。ただし、格助詞と指示詞に関する項目を対象としてはならない。

1. その2つの形式はどのような意味で「類義表現」と呼べるのかを記述する。
2. 2つの形式を「使い分けられる（産出できる）」ように、使い分けの規則を記述する。
3. 2. の規則が、どのような点で、産出のための規則として優れているのかを記述する。

問題 2

あなたは日本語を教える教師である。自分の授業をよりよくしていくために、どのような方法が考えられるか、以下の形で論述しなさい。想定している授業形態（クラス授業・個人授業／国内・海外など）についても記述しなさい。

1. 方法を3つ以上挙げなさい。
2. 1. の方法を選んだ理由をそれぞれ述べなさい。
3. 1. の方法で得られたことを生かして、どのような行動をするかを記述しなさい。（1つずつに対応していても、全体をまとめて考えてもよい。）

第二部門（日本語教育学位取得プログラム）

論文 B 問題

【必須問題】①の用語一つ、および【選択問題】②～⑩の用語から三つ、計四つを選び、具体例をあげて説明しなさい。

できるだけ日本語の例をあげること。解答の最初に選択した番号を明記すること。

五つ以上解答した場合は、0点になるので注意すること。

【必須問題】（かならず解答する）

- ① 形態素

【選択問題】（以下の中から三つ選ぶ）

- ② 日本語の敬語の分類
- ③ 日本語の副詞
- ④ オノマトペ
- ⑤ 特殊拍
- ⑥ 連濁
- ⑦ 言語生活
- ⑧ 談話分析
- ⑨ 第二言語習得研究
- ⑩ 同訓異字／異字同訓

第二部門（日本語教育学位取得プログラム）

論文 C 問題

以下の二つの問いのいずれかを選んで、解答しなさい。解答の最初に、選択した問題番号を明記すること。

問題 1 「継承語 (heritage language)」の概念について知るところを述べなさい。そのうえで、以下の二点について論じなさい。

1. どのような社会的背景のもとで、「継承語」という概念が必要とされるようになったか。
2. 「継承語」習得を目的とする言語教育とはどのようなものか。

問題 2 日本文化を深く知ることが日本語教育にどのように関係するのか、考察しなさい。